

『産研論集』投稿論文等執筆要領

1. 原稿の枚数

原稿はA4判（一段組）で作成し、文字数は1頁1000字（英語の場合は500ワード）程度とする。

- ・企画論文：10ページ程度
- ・論文：15ページ程度
- ・研究：15ページ程度
- ・書評：5ページ程度

※図表は、タイトルから参考文献までのページ数。

2. 基本構成

原稿は、A4判（一段組）で次の順に作成する。

- ・タイトル
- ・著者名
- ・本文
- ・注
- ・参考文献

3. 原稿の提出

以下を電子ファイルで提出すること。

- ・原稿（MS Word形式）
- ・『産研論集』記載事項記入用紙^(※1)（投稿者のみ）
- ・投稿同意書^(※2)（大学院生・研究員等のみ）

学内専任教員（指導教員のある者は指導教員）が署名したもの。

提出先：sanken@kwansei.ac.jp

ただし、「投稿同意書」は本書を締切日までに産業研究所へ提出すること。

（郵送可、送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院大学産業研究所 宛）

^(※1) ^(※2) は産業研究所ウェブサイト (https://www.kwansei.ac.jp/i_industrial) の「受付・募集」からダウンロード可。

4. 言語

原則、日本語または英語とする。

5. 言語校閲

母国語としない言語で論文を提出する際は、その言語を母国語とする者の校閲を受けてから提出すること。校閲機関の紹介については産業研究所へご相談ください。

6. レイアウト等

レイアウトは、本要領に従って作成すること。

(1) マージン等

上下：各25mm、左右：各25mm

(2) フォント等

フォントは、原則として以下の通り。

- ・タイトル：明朝体 14pt
- ・著者名・所属名・職位：明朝体 12pt
- ・本文：明朝体 9pt
- ・見出し：原則としてゴシック体 10.5pt
- ・注／参考文献：明朝体 8pt

7. 文中の表記

句読点は、原則として「。」、「、」を使用し、数学記号が多い論文は「.」「,」を使用。新字、新カナを使用。また、ヨコ組みのため、句読点、カッコ、コロンなどはヨコ組の表記になる。

8. 用字用語、表記の統一

『産研論集』では、原則として、用字用語の統一は行わない。各自で原稿中の統一をはかること。

(1)日本人以外の人名表記

人名は以下の方式で表記。

(例)

カタカナ（原語表記） J.ピアジェ（J. Piaget）

漢字表記 毛沢東

学術上、論文の展開上重要と思われる人名は、原則としてカタカナと原語での表記。すでに一般的となっている人名、あるいは論文の展開上特に原語表記をする必要がない人名については、併記の必要なし。

(2)西暦・和暦、数詞

半角アラビア数字を使用。

(3)注の書き方

注番号を付け、本文の最後に通し番号で記述。

(4)参考文献の表記方法

参考文献の記載は、欧文文献と邦文文献を区分し、欧文文献のリストを先に出す形式にする。また、欧文文献は、著者のラストネームのアルファベット順に、邦文文献は著者名の五十音順に記載すること。リストの作成にあたっては、下記にしたがって、統一性をもたせること。

①欧文文献

- ・著書：著者名（出版年），書名，出版社。
- ・論文集：執筆者名（出版年），“論文名”，in 編者名，ed.，論文集名，出版社。
- ・雑誌論文：執筆者名（出版年），“論文名”，雑誌名，巻号，ページ。

②邦文文献

- ・著書：著者名（出版年）『書名』出版社。
- ・論文集：執筆者名（出版年）「論文名」編者名『論文集名』出版社。
- ・雑誌論文：執筆者名（出版年）「論文名」『雑誌名』巻号、ページ。

③その他

- ・ページづけについては、欧文文献では“p.”“pp.”、邦文文献では「ページ」とする。
- ・同一著者の文献が複数ある場合、まず出版年順で配列し、次に同一出版年のときは、これに a、b、c などの文字をつける。

(5)原稿中の写真・表について

採用時には単独の形式で提出。

① 写真（点で構成されたグラフィックス）：

デジタルカメラで撮影したものであれば、解像度 350 DPI 以上のオリジナル写真データを標準的な画像フォーマット（JPEG）のファイルとして提出。

② 表組み：

スキャン画像ではなく、作表した際に使用したソフトのファイル形式で提出。

以 上